

九州久大西線
筑後川橋梁の
ケーブルエレ
クション概要

鐵道省熊本建設事務所長

釘 宮 磐

1 橋梁の位置

北九州の重要な横斷線たる久大線（久留米—大分）久留米起點33杆981. 水郷日田を去る14杆の地點に介在するものにして徑間割は次の如し。上圖参照。

下路鋼構桁 62m38 (200'E33) 2連

上路鋼鈹桁 22m25 (70'E33) 3連

總延長は194米35に及べり。

2 架 設

請負者 渡 邊 定 次 郎

架設期間 自昭和六年八月十三日

至同 十一月末日

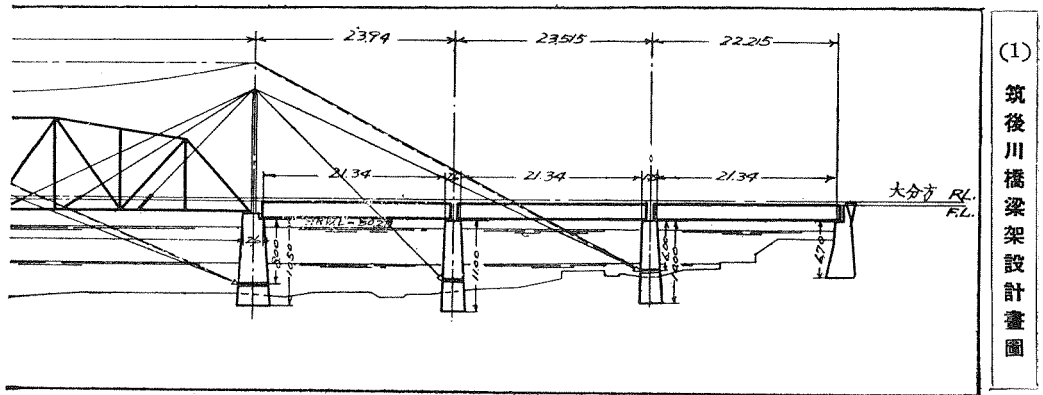
請負金額 20,500圓

構桁はケーブルエレクション（吊足場式架設法）に依り、鈹桁は手延式架設機を使用し架設せり。構桁の架設に同法を採用したる理由は次の如し。

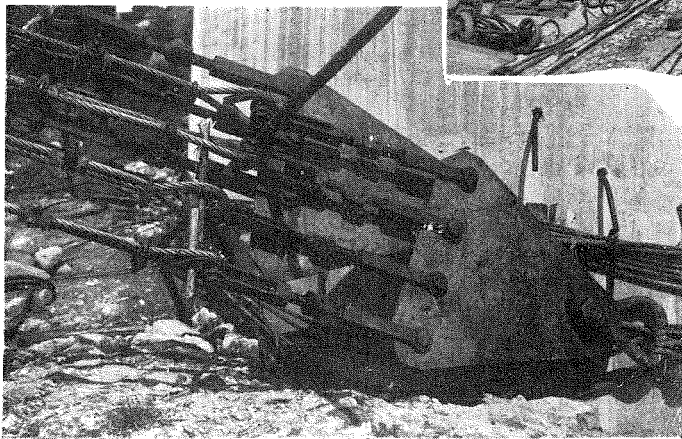
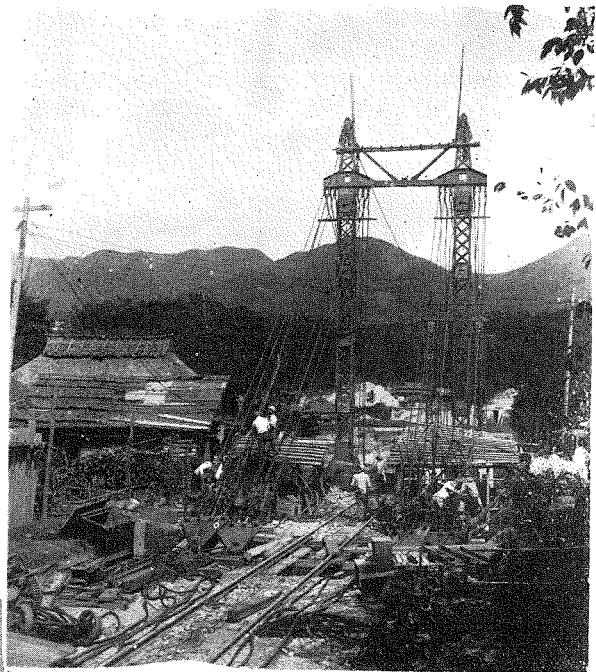
平水時に於ける筏及船の通路は久留米方第一徑間中央にして、その幅少くとも10米を必要とし、猶流速早く且つ玉石沈積のため足場建込は不可能にして、足場とゴライアス併用の架設及構柱式起重機架設等の足場を必要とするものは不適當なり。

従つて本工事にはエレクシヨントラスの使用とケーブルエレクションの比較研究の結果エレクシヨントラスは最大洪水時には、その大部分が浸水し、尙ほ工費も少なからず、故に比較的時期を選ばず、架設工事期間短く、且つ架設費最小のケーブルエレクションを採用せり。

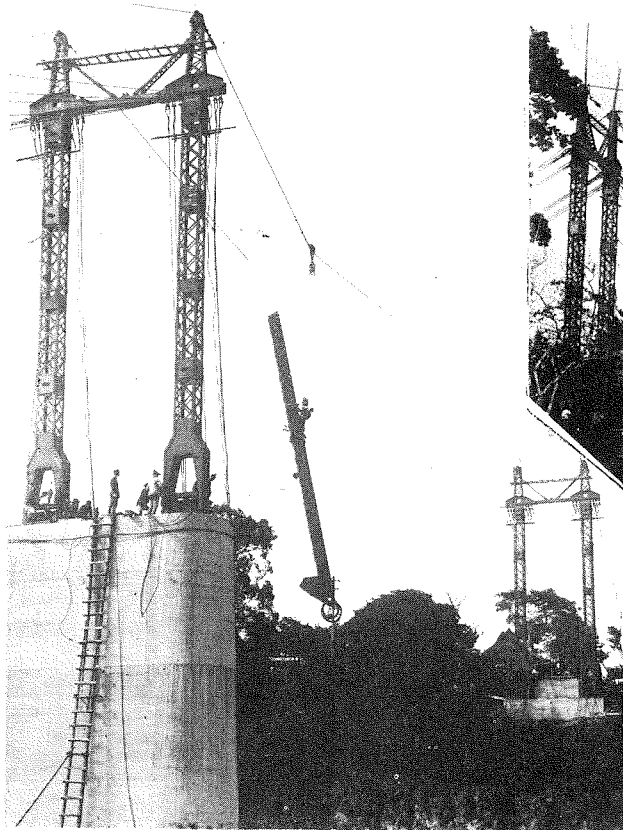
鐵鈹にはニウマチツクリベッターを用ひ、塗工は鉛粉塗料株式會社製品ズポイドを使用せり。



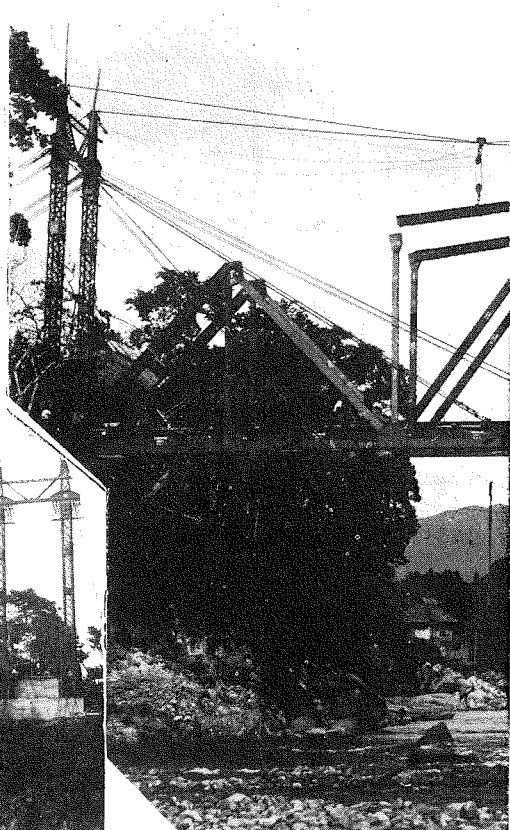
(2) 筑後川橋梁久留米方、架橋用鐵塔、同パツクステー、アンカー、ホイスト等の設備。



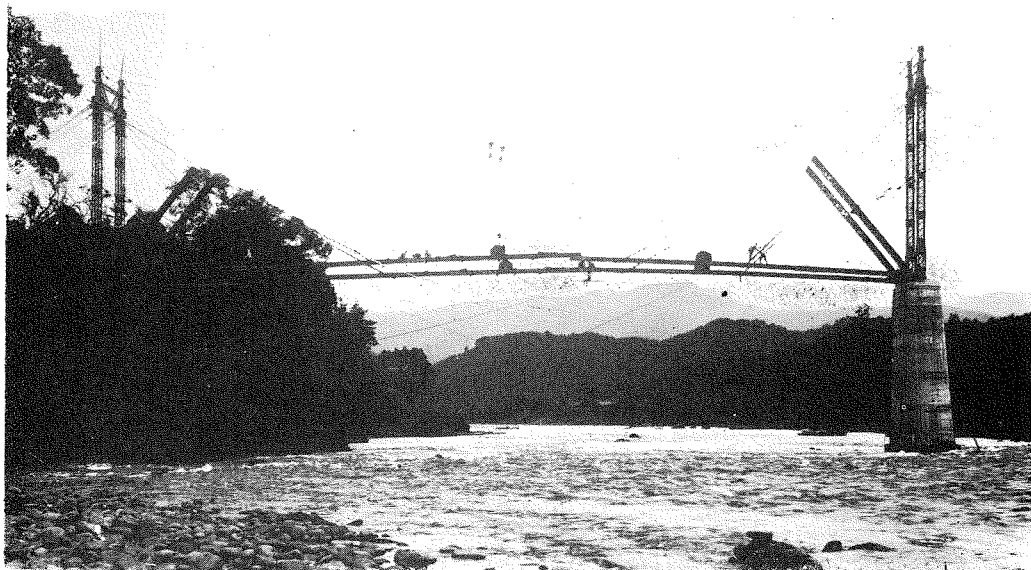
(3) 鐵塔のパツクステーを橋脚に取付けたところを示す。

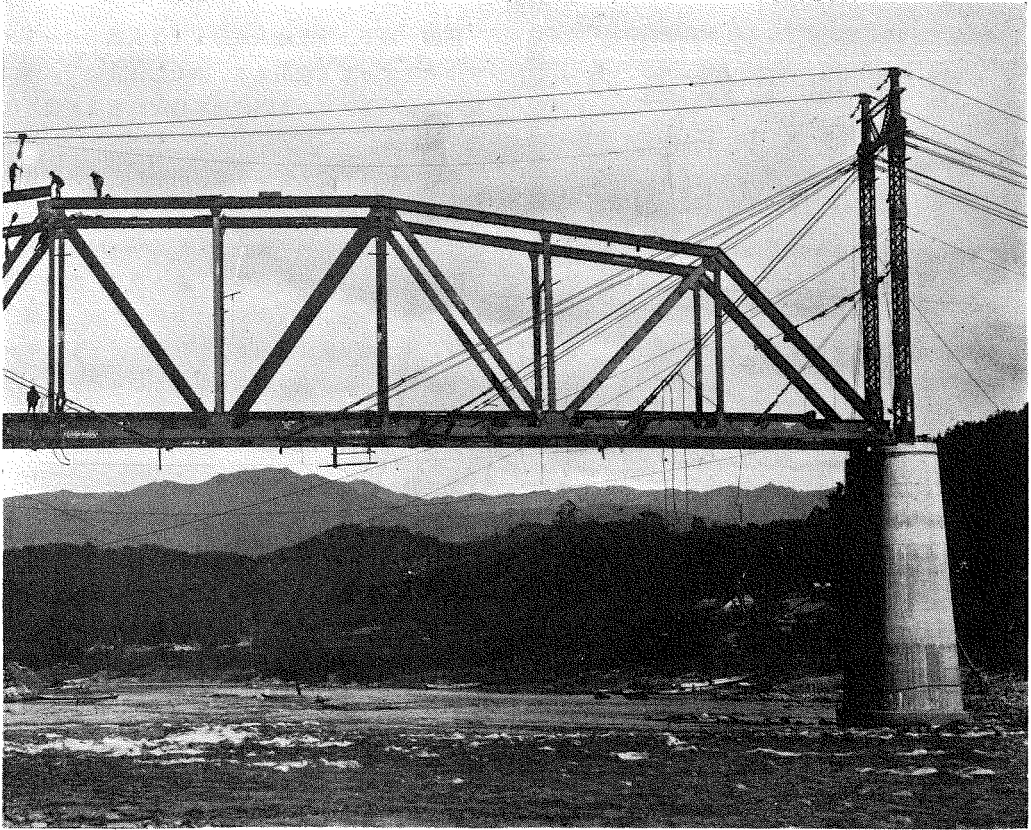


(4) 第一徑間エン
ドポスト送出中。



(5) 第一徑間ローワーコ
ード(下弦材 取付中。





(6) 第一徑間架設中のアツ
パーコード(上弦材)取付。

(7) 久留米方川上よ
り望む筑後川橋。

